



30吹下経第5297号
平成31年01月30日

国土交通大臣 殿

吹田市長



社会資本総合整備計画の変更について

平成30年01月31日 付け 29吹下経第5263号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月30日

計画の名称	吹田市下水道 水循環のまちづくり											
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	吹田市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	81	A	81	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	本市における下水道人口普及率は99.9%であり、計画期間内に実施可能な地域の污水管の整備を0.0% (H27) から100.0% (H31) に完了させる。 計画期間内における污水管の整備率 (%) 計画期間内の污水管整備済延長 (m) / 計画期間内の污水管整備延長 (m) ※計画期間内の污水管整備延長 : L=733.7m	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

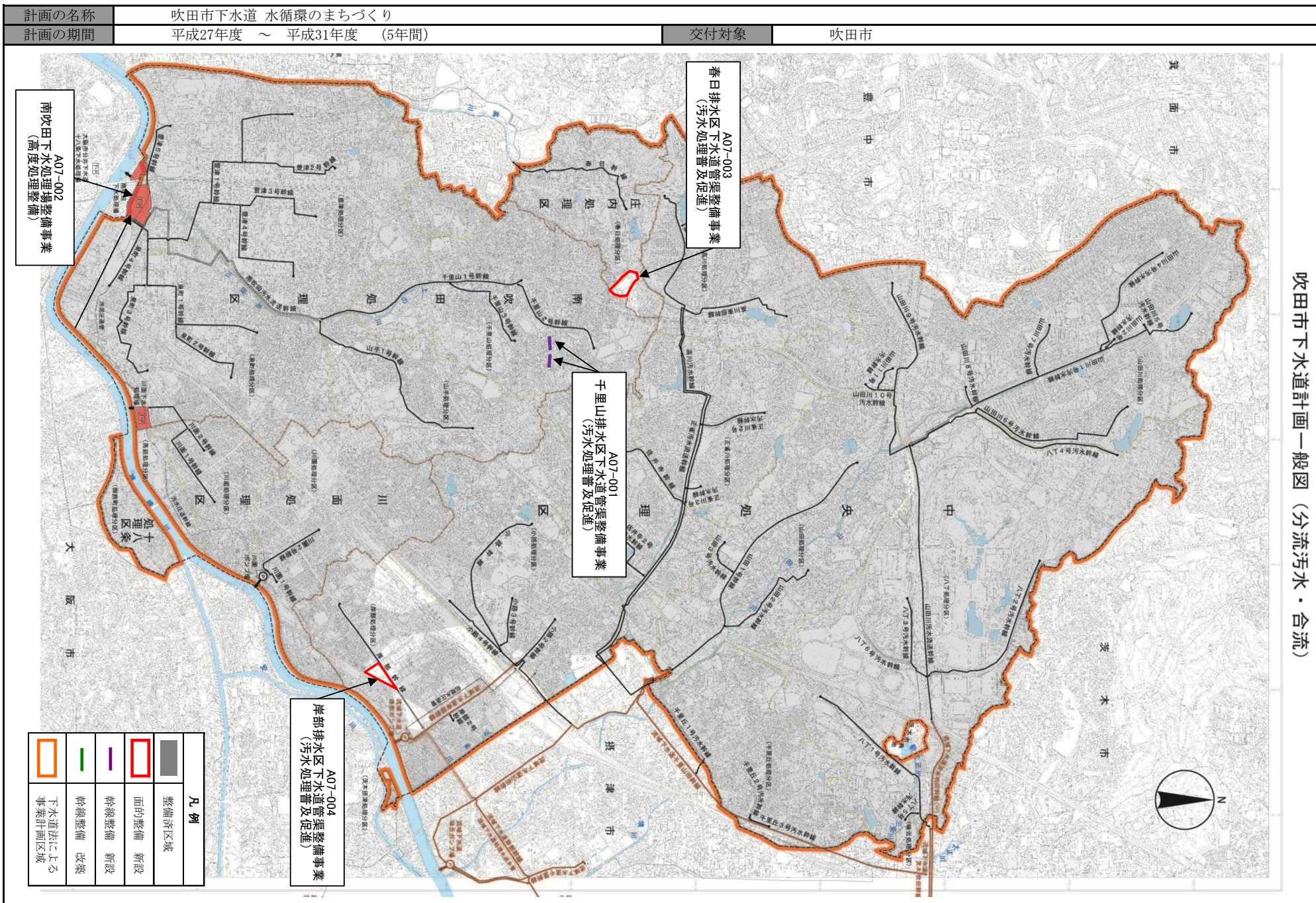
A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 污水）	新設	千里山排水区下水道管渠 整備事業（污水处理普及 促進）	污水管 φ200mm L=398.6 m	吹田市	■					11	—	
	A07-002	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	終末処 理場	—	南吹田下水処理場整備事 業（高度処理整備）	基本計画	吹田市			■			15	—	
	増設																		
	A07-003	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 污水）	新設	春日排水区下水道管渠整 備事業（污水处理普及促 進）	污水管 φ250～200mm L= 159.1m	吹田市			■			40	—	
	A07-004	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 合流）	新設	岸部排水区下水道管渠整 備事業（污水处理普及促 進）	合流管 φ350mm L=176.0 m	吹田市	■					15	—	
											小計						81		
											合計						81		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29		
配分額 (a)	13	0	23		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	5		
交付額 (c=a+b)	13	0	28		
前年度からの繰越額 (d)	1	0	0		
支払済額 (e)	14	0	18		
翌年度繰越額 (f)	0	0	10		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					



吹田市下水道計画一般図 (分流汚水・合流)

事前評価チェックシート

計画の名称： 吹田市下水道 水循環のまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①社会資本整備重点計画との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○

事 前 評 価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。

III. 計画の実現可能性

◎円滑な事業執行の環境

III. 計画の実現可能性

1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。

III. 計画の実現可能性

2) 計画について関係機関等の理解が得られている。